

# 分科会まちづくり協議のまとめ

【与板地域委員会第1分科会】

～みんなが 住みたいまち よいた～

## 高齢者がいつまでも安心して生活できるまちづくりの提案

### 1 地域の概要

- ・ 与板地域は、西山丘陵沿いに市街地が形成されています。また、地域を南北に横断する幹線道路に農村集落が点在しています。
- ・ コミュニティとしては、農村集落は、集落を中心とした強固な地域力が確保されています。一方、市街地も、比較的、良好な「隣、近所」の関係が確保されています。
- ・ 平成19年度から、検討委員会を立ち上げコミュニティづくりに取り組んでいます。
- ・ また、高齢者に関するボランティア活動は、一部の住民が積極的に行っています。それらの団体では、利用者の掘り起こしや提供会員の確保が課題となっています。
- ・ 地域資源としては、城下町としての歴史・文化資源、伝統的工芸品「越後与板打刃物」、「登り屋台」などがあります。そうした、歴史・文化資源等を活かした住民主体によるまちづくりを、多くの団体が積極的に行なっています。

### 2 現状と課題

- ・ 与板地域においても、少子高齢化の進展に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加することにより、ひきこもりや認知症・孤独死の対応が課題になると考えられています。
- ・ 同時に、核家族化の進展とともに、家族だけでは支えきれないことが想定されます。
- ・ 現在の日本をつくってこられた高齢者の皆様から、さらに、「与板に住んでいて良かった」と感じていただけるように、地域住民が主体となって、楽しみながらまちづくりを進めることが重要な課題であると考えています。

### 3 まちづくりの提案

与板地域が「みんなが住みたいまち与板」を実現するためには、「住民主体・住民参加によるまちづくり」の推進が必要です。地域住民が主体となって活動していくために中心となる運営組織や誰もが気軽に参加できる場をつくることが望まれます。

現状と課題にもあるとおり、今後より良い地域づくりを行っていくうえで「高齢者がいつまでも安心して生活できるまちづくり」への取り組みが重要となってきます。

具体的な内容については別紙1、2のとおりですが、これらの取り組みを与板地域コミュニティ推進準備委員会を中心として進めているコミュニティセンター設立の際の活動内容として、協議検討を進めていただくよう提案します。

## 【高齢者がいつまでも安心して生活できるまちづくり】の提案

(1) 実施主体 与板地域コミュニティセンター（仮称）  
町内会（自主防災会）

(2) 活動内容

高齢者が安心して生活できるまちづくりに向けて、次の「高齢者見守り活動等」の実施を推進する。

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を中心とした見守り活動  
高齢者の社会参加を促すための活動

(3) 活動展開

コミュニティセンターが中心となり、町内会や自主防災会等の団体を単位とした、「高齢者見守り活動等」の実施を呼びかける。

各団体が独自にできる事から始める。

例...子どもの高齢者見守り隊、黄色い旗、安全マップ・ホームページ作成、  
小地域ネットワーク事業をモデルとした各町内集会所で「地域の茶の間」の開催、料理教室の開催、ボランティア研修会への参加など

活動団体に対する支援を行う。

- ・行政や関係機関との連携により情報提供・情報収集に努めるとともに、専門家の協力による活動支援事業の実施
- ・活動費助成金を交付する...交付期間限定
- ・優秀団体を表彰する など

地域全体の取り組みとして定着させる。

- ・地域全体で取り組むイベント（見守り活動週間、月間）等の企画

関係機関との連携

- ・地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生・児童委員協議会、福祉施設、各ボランティア団体との情報共有・行動連携による「誰もがボランティア活動に参加しやすい環境づくり」を推進する。 別紙2参照

企業との協働

- ・地元企業から地域の見守り活動をしてもらう。  
（普段の配達や営業の傍ら、気遣いを心掛ける活動など）

## 【住民が、ボランティア活動に参加しやすい仕組みづくり】の提案

## (1) だれでもが参加しやすい環境づくり

「与板ボランティア銀行」の普及促進と利用者の掘り起こし

- ・地域包括支援センターからの住民周知による利用者の拡大
- ・民生委員に協力をお願いし、情報提供をしてもらう

地域包括支援センターの活用

- ・地域懇談会の開催などで、住民が利用しやすいセンターに
- ・関係機関のネットワークを構築し、地域課題の解消を促進する

団塊世代への働きかけ...地域デビューのきっかけづくり

- ・企業に協力をお願いし、退職者説明会等で地域ボランティアを紹介する
- ・団塊世代向けボランティア小冊子等の作成

研修会、養成講座の開催

- ・ボランティア講座、車いすの使い方教室などを開催
- ・専門的な講座等を開催...ヘルパー養成、ボランティアリーダー養成

地域で専門的資格〔介護士、看護師など〕を持つ人の登録制度

## (2) 情報拠点づくり

情報交換の場をつくる

...情報基地、学びの場、交流の場、研修の場としての機能

- ・ボランティア+利用者の意見交換の場
- ・他の地域で行っているボランティア活動状況を発信する場

ボランティアコーディネーターの設置と「ボランティア希望ポスト」を設置

- ・ボランティアを利用したい人+ボランティアをやりたい人の窓口
- ・実際のポスト+専門スタッフによる電話相談窓口の開設

ボランティア掲示板の拡大

- ・掲示場所数の拡大...体育館やまちの駅にも設置する
- ・掲示内容を追加...ボランティア側の情報を記載〔やりたいこと、時間、人数〕  
...例、買い物、日曜大工、話し相手

ボランティア利用者に対するアンケートを実施

支所だより、町内掲示板を利用したボランティア広報を実施

## (3) ネットワークづくり

与板地域のボランティア活動団体と、他地域の団体との交流の場を設置

与板地域ボランティアのネットワークを構築

## (4) 行政等との連携

関係職員〔施設職員、市職員、社協職員〕がボランティアを体験

一流の講演会、先進地視察などの経費を助成

敬老会などで、地域住民が高齢者と触れ合う機会を設ける

